

実学の帝塚山大学

01 帝塚山学園 建学の精神

「社会に有為な人材を育成する」

帝塚山学園は、初代理事長・山本藤助氏個人と、山本藤助理事長が関係する団体及び大阪電気軌道株式会社（現在の近畿日本鉄道株式会社）等からの浄財の寄付により創立され、昭和16年（1941年）2月28日付で、文部大臣より、財団法人帝塚山学園の設置認可を受けました。

建学の精神は、学園の憲法とも言うべき寄附行為第3条の「教育の目的」に定められています。それは、「国家有為ノ国民ヲ育成スルヲ以テ目的トス」であり、当時の社会背景のもと、

国家の負荷に任ずべき国家有為の国民を練成するためのものであります。

その後、昭和25年（1950年）に私立学校法が施行され、これに伴い、学園の組織は、財団法人から学校法人に変更認可されました。組織の変更を機に、寄附行為第3条の教育の目的も変更、さらにその後加筆され、現在は「この法人は、教育基本法、学校教育法及び私立学校法に従い、学校教育を行い、社会に有為な人材を育成することを目的とする」と謳われています。

02 帝塚山大学の理念（設置の趣旨）

本学は、教育基本法並びに学校教育法に基づき、広い国際的視野の上に、日本人としての深い自覚と高い識見を持ち、社会の要請に応え得る教養と創造力を備えた人材を育成するために、これに適する学問を教授研究することを目的とする。



【学則第3条】

03 帝塚山大学の教育理念

- 1) 広い国際的視野の上に日本の伝統・文化・社会に対する深い理解と幅広い教養を身につけ、
- 2) 社会の要請に応える専門知識と創造力・実践力を備えらるとともに、
- 3) 地域と国際社会に貢献することのできる人材の養成

04 歴代学長

1964-1973	初代	森 磯吉	1996-1998	第9代	小泉 進
1973-1975	第2代	渡辺 宗太郎	1999-2001	第10代	岩井 宏實
1976-1978	第3代	猪谷 文臣	2002-2004	第11代	石澤 末三
1979-1981	第4代	音田 正巳	2005-2007	第12代	松岡 博
1982-1987	第5代	内山 龍雄	2008-2011	第13代	山本 良一
1988-1990	第6代	畠山 英夫	2012-2016	第14代	岩井 洋
1991-1992	第7代	岡部 健彦	2017-2022	第15代	蓮花 一己
1993-1995	第8代	森永 道夫	2023-	第16代	奥村 由美子



子供や若い人達は学園の家 帝塚山大学 初代学長 森 磯吉

05 帝塚山大学 沿革

- 1964年 帝塚山大学 開学(教養学部 教養学科の女子単科大学)
- 1982年 帝塚山考古学研究所 設置(1997年～帝塚山大学考古学研究所に組織変更)
- 1987年 経済学部 経済学科 設置(全学男女共学化)
- 1991年 大学院 経済学研究科 経済学専攻(修士課程)設置
- 1992年 帝塚山大学経済経営研究所 設置
帝塚山学園芸術文化研究所 設置(2000年～帝塚山大学芸術文化研究所、2006年～帝塚山大学奈良学総合文化研究所に組織変更)
帝塚山学園人間環境科学研究所 設置(2000年～帝塚山大学人間環境科学研究所に組織変更)
- 1993年 経済学部 経営情報学科 設置
大学院 経済学研究科 経済学専攻(博士後期課程)設置
- 1996年 大学院 人文科学研究科 日本伝統文化専攻(修士課程)設置
- 1997年 法政策学部 法政策学科 設置
- 1998年 経済学部 経営情報学科を経営情報学部 経営情報学科に改組
大学院 人文科学研究科 日本伝統文化専攻(博士後期課程)設置
- 1999年 教養学部を人文科学部に改組
人文科学部 日本文化学科・英語文化学科・人間文化学科 設置
- 2000年 帝塚山短期大学を帝塚山大学 短期大学部に組織変更
- 2001年 大学院 法政策研究科 世界経済法制専攻(修士課程)設置
- 2003年 大学院 法政策研究科 世界経済法制専攻(博士後期課程)設置
- 2004年 人文科学部 人間文化学科および短期大学部を改組し、心理福祉学部 心理学科・地域福祉学科および現代生活学部 食物栄養学科・居住空間デザイン学科 設置
帝塚山大学附属博物館 設置
- 2005年 帝塚山大学 心のケアセンター 設置
- 2006年 法政策学部 法政策学科を法政策学部 ビジネス法学科・公共政策学科に改組
現代生活学部 食物栄養学科に管理栄養士養成課程を開設
大学院 人文科学研究科 臨床社会心理学専攻(修士課程)設置
- 2009年 現代生活学部 こども学科 設置
人文科学部を人文科学部に、同学部英語文化学科を英語コミュニケーション学科に名称変更
- 2010年 法政策学部 ビジネス法学科・公共政策学科を法学部 法学科に改組
- 2011年 心理福祉学部 心理学科・地域福祉学科を心理学部 心理学科に改組
- 2012年 経営情報学部 経営情報学科を経営学部 経営学科に名称変更
大学院 人文科学研究科 臨床社会心理学専攻(修士課程)を大学院 心理科学研究科 心理学専攻(博士前期課程・博士後期課程)に改組
- 2014年 大学開学50周年
人文科学部を文学部に名称変更
文学部 文化創造学科 設置
- 2018年 経済学部 経済学科、経営学部 経営学科を経済経営学部 経済経営学科に改組
- 2019年 現代生活学部こども学科を教育学部 こども教育学科に改組
- 2020年 帝塚山大学子育て支援センター 設置(学部附置から大学附置に組織変更)
- 2024年 大学開学60周年

学園章・校章



帝塚山学園が、1941年、今のあやめ池駅近くに新しい校地を求めて旧制中学校を開校したとき、美しいアカマツ林に囲まれた環境にちなみ、松の葉とまつかさ、「帝」の文字をあしらった学園章が制定されました。赤松の持つ力強さと風雪に耐える永遠性、成長と結実、円があらわす円満と完結などの理想を象徴しています。2000年度に校章の見直しが行われ、学園章を校章として使用することになりました。

シンボルマーク



2000年度に、学生の投票により選ばれたシンボルマーク。大学の自由で明るく元気な学生を表現したもの。「知性と判断力」を表すブルーと「思慮深さ」を表すパープルで学生の瞳を、「夢と希望」を表すピンクで輪郭を表現。「親密さと好奇心」を表すオレンジで、髪の毛を表しています。